

第3回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時： 平成30年12月5日（水） 午前10時00分

場所： 男鹿市役所 3階 第一会議室

第3回男鹿市地域公共交通活性化協議会

平成30年12月5日（水） 午前10時00分

出席委員（20人）

1号委員 長澤 秀博

2号委員 藤原 亨

4号委員 佐藤 徹 藤谷 学 旭谷 明 鈴木 弘郷

敦賀 文雄 久保市 隆

5号委員 船木 宏 白幡 克見 高野 進 佐沢 篤

佐々木 一義 小玉 正富 三浦 金悦 仲村 盛吉

海道 利夫

6号委員 日野 智

7号委員 笠井 潤 畠山 喜美

代理出席（3人）

（委員名） （代理名）

3号委員 阿部 哲也 坂谷 千春

4号委員 酒井 宏彰 外山 章

北嶋 透志雄 糸井 博

欠席委員（2人）

4号委員 武内 信彦

5号委員 吉田 勇之介

出席事務局職員

総務企画部長 船木 道晴

企画政策課長 八端 隆公

企画政策課主幹 村井 千鶴子

企画政策課主事 加賀 有陽

男鹿市地域公共交通網 株式会社ケー・シー・エス

形成計画策定調査業務

受託事業者

平成30年度第3回

男鹿市地域公共交通活性化協議会総会

日時 平成30年12月5日

10時00分より

場所 男鹿市役所3階 第一会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 議事録署名委員の選任について

(2) 平成31年度男鹿市単独運行バスの運行方針について

(資料1～2)

3. 協議事項

(1) 男鹿市地域公共交通網形成計画素案について

(別途送付の資料)

4. その他

(1) 今後のスケジュール等について

5. 閉 会

(午前 10 時 00 分開会)

○事務局（八端）

それでは定刻を過ぎましたので、ただいまから平成 30 年度、第 3 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催いたします。開会にあたりまして、資料のご確認をお願いいたします。担当から確認させます。

○事務局（加賀）

事前にお届けしております資料のほか、お手元には、次第及び委員名簿を配布しております。資料の中に落丁等ございましたら、進行の途中でもお申し出ください。

○事務局（八端）

それでは、次第により進めさせていただきます。ここからの議事進行につきましては、会議規則により、日野会長よりお願いいたします。

○日野会長

それでは、議事を進めてまいります。まず、議事の第 1 でございます。協議会規約の規定により、2 名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法について、いかがいたしましょうか。

～事務局一任の声～

○事務局（八端）

それでは、事務局からご提案申し上げます。男鹿市商工会の久保市委員と男鹿市建設課の畠山委員とを推薦したいと思います。

○日野会長

事務局より久保市委員と畠山委員を推薦する声がございましたので、ここでお諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることにご異議ございませんか。

～異議なしの声～

○日野会長

それでは、異議がないようですので、議事録署名委員は、久保市委員と畠山委員に決定されました。よろしくをお願いいたします。それでは、議事の 2、平成 31 年度男鹿市単独運行バスの運行方針についてに移ります。事務局から説明願います。

○事務局（加賀）

それでは、私の方から説明をさせていただきます。平成 31 年度男鹿市単独運行バスの運行方針についてでございますが、平成 30 年度のダイヤ編成を基本としつつも、乗降状況や、

計画策定時の調査から得られた利用者意見を反映して編成を行ってまいります。また、例年どおり、通学対応及び JR 男鹿線との接続に極力配慮してまいります。来年度運行する路線は計 8 路線となっております。

まず、五里合線についてでございます。五里合線は今年度と同様の運行を行ってまいります。来年度予定されている下水道工事に伴い、8 月から 12 月頃までの期間で迂回運行が想定されます。その際は、地域の皆様と協議しつつ、迂回運行方法を検討してまいります。

続いて、男鹿中線、安全寺線、入道崎線、戸賀加茂線、男鹿南線につきましても、本年と同様の運行を行います。

来年度、追加となります船越線と潟西線につきまして簡単に説明いたします。船越線につきましては、定時定路型で運行を行います。起点はみなと市民病院、終点は船越駅前となっております。往復でのキロ程の違いにつきましては、経路の違いによるものであります。運行回数は現在の船越線を維持する形で検討しております。また、鉄道及び潟西線との接続に極力配慮しながら、通学対応も行なってまいります。潟西線につきましても、同じく定時定路型で運行を行います。起点は船越駅前、終点は下五明光となっており、こちらも鉄道及び船越線との接続、及び児童生徒の通学に配慮するようダイヤを設定しておりますが、便数は往復 2 便の減となっております。乗降の状況から便数を設定しておりますが、他路線との接続性を向上させることで、利便性は確保されるものと考えております。

全体の運行方針は以上となりますが、JR 男鹿線等のダイヤ改正に伴わないダイヤの変更がございますので、この場でご説明させていただきます。

五里合線につきましては、下りの第 1 便を買い物対応のため、第 2 便を船越線からの待ち時間短縮のためダイヤ調整を行っております。

男鹿中線につきましては、上り第 1 便の発車時刻を遅くすることで、利用しやすくなるよう調整しております。また、下りの第 5 便を 11 時台の男鹿北線から接続するようなダイヤに振り替えております。

安全寺線につきましては、下りの第 1 便で買い物対応のためのダイヤ調整を、第 2 便で通院及び買い物利用のため、男鹿北線に接続するようダイヤの振り替えを行っております。

続きまして、入道崎線でございます。こちらは、ダイヤの変更はございませんが、下りの第 3 便の予約運行型の便を、利用率の高さから定時定路型へと変更しております。

戸賀加茂線につきましては、上りの第 1 便と第 3 便の利用状況を考慮し、予約運行型と定時定路型の運行形態の振り替えを行っております。また、第 4 便を観光対応及びクロス運行解消のため、ダイヤ調整を行っております。下りにつきましては、第 1 便を 11 時台の男鹿北線に接続するようダイヤの振り替えを行います。こちらは利用者要望に基づく変更となります。

男鹿南線につきましては、男鹿駅での接続を優先しながらも、住民意見交換会で意見のあった、通院及び買物の利便性向上のためのダイヤ調整を行っております。

船越線及び潟西線につきましては、現行のダイヤを基本としつつ、通学、通院や買い物等の利用、各交通モード間での接続を考慮し、朝方、日中の利用をメインとして編成を行っております。

来年度の男鹿市単独運行バスの運行につきましては、本総会で方針を承認いただいたの

ち、指名型プロポーザル方式にて事業者を選定してまいります。指名先につきましては、市内に本店や営業所を有し、市の業者登録があるか、今までに市の委託を受けたことがある事業者となり、現在対象となる事業者は4者ございます。プロポーザルにつきましては、内部の決裁を経て、12月中の通知、来年1月の選定を予定しており、実施にあたりましては、運行の確実性、安全性の確保といった点に主眼を置いて選定を行ってまいります。

補足となりますが、船越線及び潟西線の2路線につきましては、取扱いとしては実証運行とし、乗降状況を見極めながら運行を行い、年度途中であってもダイヤの調整等を検討していきたいと考えております。

説明は以上となりますので、よろしくお願いいたします。

○日野会長

ただいま、事務局から説明がありましたが本案についてご質問等ございましたらお願いします。

○仲村委員

船越線の経路について、キロ程が違う部分など詳しく教えていただけますか。

○事務局（加賀）

往路は船川地区の元浜町を経由し、復路は経由しないためキロ程が変わってまいります。船越駅周辺においては、船越駅から船越公民館を経由する形で経路を設定しなしております。

○日野会長

ダイヤ改正の周知はどのようにお考えですか。

○事務局（加賀）

周知につきましては、JR 男鹿線や男鹿北線等でダイヤ改正が想定されますので、それを受けてこちらのダイヤも調整を行い、市広報3月号への掲載、及び時刻表折り込みで対応したいと考えております。船越線及び潟西線の経路変更、回数券や定期券の取り扱いについても、その際に併せて周知する予定です。

○日野会長

他にご質問等がないようでしたら、ここでお諮りいたします。本案にご異議はございませんでしょうか。

～異議なしの声～

○日野会長

御異議がないようですので、平成31年度男鹿市単独運行バスの運行方針については、本案のとおり承認されました。引き続き、現在、策定調査を進めている男鹿市地域公共交通

網形成計画の協議に移ります。本事項については、調査業務の受託事業者である株式会社ケー・シー・エスより説明及び進行をお願いします。

～株式会社ケー・シー・エス説明（計画骨子案）～

○事務局（加賀）

今回の計画策定においては、調査等をもとに骨子案、素案と作成を進めているところがあります。皆様から、特に市の公共交通の将来イメージについて、ご意見等がございましたらよろしく願いいたします。

○糸井委員代理

船越線及び潟西線について、来年度以降は2路線合わせて1台で運行することになりますか。今までは潟西南部線と船越線で1台だったかと思いますが。

○事務局（加賀）

来年度の運行に関しましては、路線ごとにプロポーザルを実施する形になります。受託事業者が同一であれば、1台で運行することも可能ですが、2路線を合わせると40キロ近い長大な路線となってまいりますので、1社ですと運転士の確保という部分で課題はあるのではという懸念もございます。

○旭谷委員

今の運行は1台で行う場合もあるし、2台で行う場合もあります。接続路線とは言え、1台で運行できない場合もあるというのが現状です。

○糸井委員代理

今後の路線を考えるに当たり、金融機関や商業施設等もすべてバイパス側に集積しています。タクシー利用も多くありますが、バイパス側にも2か所程度バス停を設けられれば、利用の促進にもつながると思いますので、潟西線から乗り継ぐ方も、船越のまちなかの方も利用しやすい形になるよう、住民の皆様の利便性を考慮して、検討していただきたいと思います。

○事務局（加賀）

市単独運行バスとしての船越線及び潟西線の運行については、糸井様のご意見のとおり、バイパス側の施設への需要も検討しなければいけないというのは、住民の皆様からもご意見をいただいているところであります。今後ははまちなかでの疑似的な循環システムの実施を模索しておりますが、運行にあたっては、船越地区のタクシー事業者様とも十分協議させていただいたうえで実施していきたいと考えております。

○株式会社ケー・シー・エス

潟西線の乗り入れやバイパス側の施設利用、及び速達性の向上も考慮して、交通ネット

ワークを作っていきたいと考えておるところです。今後調整していく事項もございますが、目指す形はそこを考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○長澤委員

まちづくりの方向性と計画の関連性について確認があります。立地適正化計画とのリンクをどのようにしていくのか、及び現行計画の連携計画からの関連をどう考えていくのかという2点についてはいかがでしょうか。

○株式会社ケー・シー・エス

本計画につきましては、現行の都市計画マスタープランの事業計画に合わせて策定を進めております。立地適正化計画につきましては、2020年の都市計画関係計画の改定があると同っておりますので、まずは都市計画改定の動きに対応できるような形で本計画を先行して策定し、都市計画分野との整合を図っていくことになります。

連携計画については、未達成部分の事業等の引き継ぎも含めて、整合性を図りながらよりよい交通ネットワークを構築するということで策定を進めてまいります。

○長澤委員

5か年の計画の中で、すべての事業ができるとは限りませんので、事業ごとの重要度やスケジュールの精査も行いつつ、各種計画との整合性を図りながら進めていただきたいと思います。

○日野会長

まちなか循環システムを導入検討は、男鹿市では新しい取り組みになってくると思います。船川地区での循環は特に重要になってくると思われますが、現時点である程度具体的な案があればお伺いできますか。

○株式会社ケー・シー・エス

各地区からバスが乗り入れてくるため、まちなかでの動きが煩雑にならないよう注意が必要ですので、ダイヤや経路など、今後事業者様と調整を進めてまいります。

○事務局（加賀）

主要な拠点となる施設での案内表示をうまくしなければ、システム自体が機能しない可能性もございますので、案内表示の改善といった部分をプロジェクトに入れながら進めていきたいと考えております。

本計画につきましては、連携計画策定時から変化している状況に対応し、既存の交通資源を可能な限り活用しながら、利便性の向上等を図っていくところが肝要になってくると思います。各プロジェクトの内容についても今後精査しながら、1月予定の書面協議に向けて動いていきますので、よろしくお願いいたします。

○日野会長

それでは、今後のスケジュール等について、事務局より説明願います。

○事務局（加賀）

今後のスケジュールでございますが、このあと来年1月には計画策定にかかる書面協議をさせていただきまして、2月にはパブリックコメントを実施し、専門部会、総会を経て計画案を承認いただきたいと考えております。皆様からご意見がございましたら、書面協議前でも、私の方までご連絡いただければと存じます。

ご連絡ですが、委員の皆様のマイナンバーにかかるご確認の通知を发出させていただきますのでよろしくお願いいたします。

2点目ですが、市で運行しておりますなまはげシャトルについて、既存の発着地に加えて、北浦のアジサイ時期のみ北浦地区を追加する方向で検討しているとのことです。路線バスとは重複しない経路とのことです。情報共有しながら確認していきたいと思っております。

3点目ですが、若美地区北部から能代方面へ運行しております五明光線について、今補助年度は国地域間幹線補助の基準数値を下回ったとの報告を受けております。現在、乗降調査を実施中とのことです。調査結果等を確認しながら、必要に応じて情報提供をさせていただきます。

○海道委員

今回の資料は学校等にはお見せしてもかまいませんか。

○事務局（加賀）

ダイヤに関する部分については、このあと調整がありうるということを踏まえていただければ、問題ありません。

○日野会長

それでは以上をもちまして、本日の議事日程を終了いたします。進行に御協力くださいまして、誠にありがとうございました。

○事務局（八端）

これで本日の男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。

（午前11時10分閉会）

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 3 0 年 月 日

会 長

委 員

委 員